

滑らなくてもOK! ノンスキーで楽しむゲレンデ

世はスキーシーズンの真っ只中。スキー場といえば、主にスキー、スノーボードを楽しむ場所ですが、近年は、スノーアクティビティやグルメ、温泉などの“ノンスキー”な楽しみ方を提案しているスキー場が増えているのだとか。編集部スタッフは新たなゲレンデの魅力を探るべく、早速、ゲレンデへとクルマを走らせました。



スキー場の「今」を知る

スキー場だけど、スキーはしない。そんな新しい価値観には一体どんな背景があるのでしょうか？
水上高原スキーリゾートの廣瀬厚彦さんに、
多様化するスキー場の楽しみ方や魅力についてお聞きしました。



水上高原リゾート株式会社
スキー場支配人
廣瀬厚彦さん

「ノンスキー」な人は 増えている

水上高原スキーリゾートは、標高約1000mという立地で雪質もとても良く、バリエーション豊富な12のコースがありスキー場としての環境が整っています。ですが、近年はスキーをしなくてもスキー場を楽しむ方が増えているのを実感しています。インバウンドも増えており、現在では利用者の約3分の1をインバウンドが占めているように見受けられます。海外の方はそもそも雪を見るのが初めてだったり、あまり雪に馴染みがなかったりと、スキーではなく雪そのものを求めてお越しになる場合が多いです。雪を眺めたり、写真を撮ったり、雪に触れるだけでもとても楽しんでいらつしやいます。日本人とは少し違った

「ノンスキー」な楽しみ方をされていますね。

では国内からの利用者はどうかというと、スキーやスノーボード以外のアクティビティに注目が集まっています。例えば、お子様連れのご家族であれば子ども向けアクティビティの揃ったキッズパーク、家族みんなで楽しめるアクティビティで遊んで、スキー場で1日過ごしていらつしやいます。雪質やスキー場のゲレンデ環境だけでなく、「ノンスキー」な遊び方の選択肢を増やすことでスキー、スノーボードをしなくても楽しめ「また来たい」と思ってもらえるように工夫を凝らしているのが、今のスキー場のトレンドです。



多様化するニーズに 合わせた試行錯誤

少し前までは、小さい頃は冬になったら親にスキー場に連れて行ってもらって、スキーをするのが当たり前でした。しかし、今は小中学校の行事としてのスキー教室がない学校も多く、次の世代がスキーを楽しむ機会も減って、全国的にスキー場の来場者数が低下してしまっているのでは、と私は考えています。もちろん、屋内で遊べるゲームや他のスポーツなど、様々な娯楽の台頭もあるでしょう。私たちはそれを踏まえ、誰でも楽しめるアクティビティを増やすことに注力してきました。他のスキー場でも、グルメや温泉、景色など「ノンスキー」の新たな魅力を発信することに力を入れており、アクティビティについては他のスキー場から問い合わせがあ

るほどです。スキー場側からの「ノンスキー」への注目度も高まっているのを感じます。私たちスキー場側も、多様化する楽しみ方やニーズに合わせて試行錯誤しながらお客様の声に添えています。

「ずばり、スキー場の 魅力とは？」

アクティビティが充実していることはもちろんですが、なんと言っても「大自然の中で雪遊びができること」。これはスキー場の変わらない魅力だと思っています。ぜひ、「ノンスキー」でも気持ちの良い雪と広大な自然を堪能してほしいです。

水上高原スキーリゾート
群馬県利根郡みなかみ町藤原6152-1
TEL:0278-75-2222



←公式サイトはこちら



ほっと一息つけるような
カフェメニューを提供するスキー場も。
(竜王スキーパーク/SORA terrace cafe)



夜の樹氷を楽しむツアーで非日常な体験を。(蔵王温泉スキー場/樹氷幻想回廊ツアー)



天候に左右されることなく、いつでも楽しめるボルダリングもある。
(アライズスノーリゾート)

編集部スタッフが体感!

スノーアクティビティ

子ども向けの雪遊びアクティビティに加え、大人も楽しめる

15種類ものアクティビティがラインアップされているので、ノンスキーにはうってつけ。

ということで、実際に編集部スタッフがスキー、スノーボードをせずに1日ゲレンデを楽しんでみました。



体験ルポ① / 犬ぞり体験

雪原を駆ける 犬たちとの一体感!

犬ぞりはシベリアやアラスカなどの寒冷な地域で人モノの運送に使われ、スノーモービルが実用化されるまでは主要な移動手段でした。ここはそんな犬ぞりが本州で唯一本格的に体験できるスキー場なのです。

まずはレクチャーを担当する平井俊介さんにご挨拶。平井さんは犬ぞりを操縦する「マッシャー」という役割を担っています。「例えるなら犬は犬ぞりのエンジン。私たちはそれをサポートします」と平井さん。マッシャーがブレーキで速度を調節したり、上り坂でスピードが落ちる場面では自らが走ってそりを押ししたりと、犬と人が一体になるのが犬ぞりの特徴とのこと。

続いて、その乗り方を学びます。スキー板よりも幅の狭い足場に片足ずつ乗せ、両手はハンドルに。小さい足場に驚きますが、犬ぞりはバランスが重要なので、ここでしっかり教わります。次にスノーモービルに牽引してもらい、予行演習をします。一通りレクチャーを終えたら、今度は犬たちにご挨拶し、ハーネスを装着。それぞれの名前を呼び、ふれあってコミュニケーションを取ります。ここにいる犬たちはアラスカンハスキーやポインターなど運動が得意な犬種の血が入っているアラスカミックスで、みんな走るのが大好き! 走り出すのを今か今かと待ち侘びています。

準備ができたなら遂に犬ぞりがスタート! まず驚いたのはその安定感とスピード。大きく揺れることもなく、一定のスピードを保ちながら颯爽と雪原を駆けて行きます。安定かつ爽快な走りに段々と余裕が生まれ、流れゆく景色を楽しめるほどに。一面の銀世界、頬を掠める冷たい空気、耳を澄ますと聞こえてくる犬たちの足音と息づかい。最初の緊張が嘘のように、不思議と頭が冴えていくような感覚に包まれました。走り終えたら平井さんは一頭ずつ名前を呼んで「good!」と褒めてあげます。「何よりも犬たちとのコミュニケーションが大事なんです」と平井さん。私たちも満足げな犬たちに「ありがとう」と声をかけ、犬ぞり体験は終了。とても貴重な体験に大満足でした。

犬ぞり体験

開催日: 2024年3月31日まで

※除外日: 2月29日~3月3日

料金: 体験ドライバープラン 2名 24,000円

マッシュグライドプラン 2名 50,000円

※2名1組でのご予約が必要です。

お電話にて事前予約制 TEL:0278-75-2222



一人ずつ、その乗り方をレクチャーしてもらおう。両足を必ず足場に掛けてバランスを取るののポイント。



名前を呼びながら「今日はよろしくね!」と犬たちに挨拶することで信頼関係を築く。



ハーネスを着けるお手伝い。話しかけながら丁寧にすばやく着けてあげよう。



走り終えたらご褒美のスープをあげる。犬たちが満足そうでこちらもなんだか嬉しい。

大人も子どもも楽しめる お手軽アクティビティ

スノーアクティビティの中には、スキーやスノーボードのような高度な技術や経験がなくても問題無し！という、初心者大歓迎なものも多くあります。中でも始めやすいのが「そり」。

水上高原スキーリゾートで見つけた、ちょっと面白いそりをご紹介します。

体験ルポ② / 進化系そり

乗りこなす達成感！

「そり」といえば、大きなプラスチックの板に紐がついたものを想像しますが、現代の「そり」はそれだけではありません！ということで、水上高原スキーリゾートでレンタルできる進化系そりを3つピックアップし、編集部スタッフが乗り比べることに。

ジップフィー

ハンドル操作と体重移動で方向を変えることができるシンプルな「そり」です。従来の「そり」と違うのは、座面が小さく、足は伸ばして浮かせておくこと。足の間にあるハンドルを握りながらバランスを取るのですが、これが案外難しい！スタッフが滑ってみると、バランスがうまく取れず積もった雪に向かって横転。老若男女楽しめるシンプルな構造ながら、細かなバランス感覚が試される奥深い1台です。

スノーライダー

新感覚のバイク型そりです。ハンドルが上に伸びており、バイクと同じような感覚でハンドル操作を行うことができます。ボディがプラスチック製で軽量なため、滑る雪面がデコボコしているとすぐにハンドルを取られてしまいます。クルマの運転に慣れているスタッフでも乗りこなすのにひと苦労しましたが、慣れてくると本当にバイクのような感覚で風を切るすることができます。

スノーレーサー

ステアリングとブレーキがついた雪上のレーシングカーと言われる1台です。大人用と子ども用があり、プラスチックで軽量な子ども用に対して、大人用は金属製なので安定感は一カイチです。座る姿勢もカートのような感覚で、ステアリングとブレーキを操りながら走る様はまさにレーシングカー。今回紹介している3台の中で一番速く滑ることができます。クルマ好きな方にはぜひ体感していただきたいです。

そり体験
開催日：3月31日まで
料金：各1,300円(2時間レンタル)
※別途リフト券が必要です。
受付：ホテル・スキーセンター
平日8:00~15:30、土日祝7:30~15:30
対象年齢：ジップフィーは小学生以上、スノーライダーは中学生以上、スノーレーサーは3歳以上
※進化系そりは「Sled Rideコース(そり専用)」での滑走のみ。ジップフィー、スノーライダーをご利用のお子様はキッズパーク「スノーパレット」でも滑走可能です。利用条件など詳しくは水上高原スキーリゾートの公式サイトでご確認ください。



ジップフィーは、3台の中では特にバランス感覚が試される。



スノーレーサーは、座面が広いので座りやすく、大人でも難なく乗りこなせる。



スノーライダーにも踏むタイプのブレーキがついているので安全性もバッチリ。



レンタル時に乗り方を教えてもらえるので、初めてでも安心です。



スノーライダー

スノーレーサー

ジップフィー

ンスキーで楽しむスキー場セレクション



日帰り温泉施設 スパリーナ

ONSEN

野沢温泉スキー場(長野県)



源泉かけ流しの露天風呂や、水着着用の大浴場、サウナなど多彩な温泉を完備。野沢温泉伝統食材を使ったメニューが堪能できるレストランもあり、スキー後はもちろん、日帰りの方も快適にご利用いただけます。

住所：長野県下高井郡野沢温泉村豊郷6748
TEL：0269-85-4567

かまくらBBQ

Gourmet

ルスツリゾート(北海道)



かまくらの中で、年間200頭しか出荷しない幻のルスツファーム産羊肉「羊蹄ひつじ」や地元の野菜を使ったジンギスカンが味わえます。かまくらの中で体験するパーベキューは思い出に残ること間違いなし。

住所：北海道虻田郡留寿都村字泉川113番地
TEL：0136-46-3332

雪上バギークルーズ付き SORA terrace 観光プラン

Landscape

竜王スキーパーク(長野県)



雪上バギーと世界最大級ロープウェイを体験し、標高1,770mのテラスからの景色を堪能するプランです。また、山頂にあるSORA terrace cafeでいただける雲や雪モチーフのメニューで一息つくのもおすすめです。

住所：長野県下高井郡山ノ内町夜間瀬11700
問い合わせ：HPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
<https://ryuoo.com/magazine/magazine-6250/>

樹氷/樹氷幻想回廊ツアー

Landscape

蔵王温泉スキー場(山形県)



蔵王ロープウェイを使えば、スキーをしなくても樹氷を見ることができます。週末の17時以降は樹氷がライトアップ*され、日中とは一味違った表情に。また圧雪車に乗って夜の樹氷を見学する樹氷幻想回廊ツアーも。

*2月25日まで
住所：山形県山形市蔵王温泉土合709-1
TEL：023-694-9617

SPAガラの湯/アウトドアサウナ

ONSEN

ガラ湯沢スキー場(新潟県)



国内でも数少ない、雪上サウナが楽しめます。屋外のテント型サウナで体を温めたら、水風呂ならぬ雪風呂で体を冷やして外気浴。スキー場ならではの“ととのう”体験はサウナ好きにはたまりません。

住所：新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢字茅平1039-2
TEL：025-785-6543
*アウトドアサウナは2日前までに事前予約が必須。

スカイスウィング

Activity

草津温泉スキー場(群馬県)



高さ10mの巨大ブランコ「スカイスウィング」からは草津温泉街や遠方の山々が一望できます。他にも、最高速度70km/hの爽快絶叫アクティビティ「パンジップテンク」など、体験型アクティビティも充実しています。

住所：群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根
国有林158林班
問い合わせ：TEL 0279-88-8111

雪上大運動会

Activity

アライズノーリゾート(新潟県)



1~4月の第3日曜日に開催している雪上大運動会。紅白のチームで競い合い、玉入れなど雪の中で体を動かして遊べるイベントです。また、雪の多い時期はゲレンデを整備する圧雪車の乗車体験も人気です。

住所：新潟県妙高市南善寺1966 アライズノーリゾート
TEL：0255-75-1177
*圧雪車の乗車体験は金・土・日のみ開催。

自家製野沢菜ピザ

Gourmet

Hakuba47ウィンタースポーツパーク(長野県)



ピザハウス Luisでは、雪景色を眺めながら石窯で焼いたピザが味わえます。おすすめは自家製の野沢菜漬けを使ったピザ。漬け込み具合にともなって、発酵が進み、味の変化が楽しめることから何度も足を運ぶお客様も多いとのこと。

住所：長野県北安曇郡白馬村神城24196-47
Hakuba47 Winter Sports Park ベースエリア
問い合わせ：HPのお問い合わせフォームよりご連絡ください。
<https://www.hakuba47.co.jp/winter/contact/>



体験ルポ③
スノーコーチ
体験



雪の中を走り抜ける爽快感！

もう少しアクティブな体験がしたい！という方には、スノーモービルを使ったハイスピードなアクティビティがおすすめです。

スノーコーチは、インストラクターが運転するスノーモービルに連結されたボックスタイプのそりに乗り、雪上を駆け巡るアクティビティです。2人乗りの車両には安全バーがついており、遊園地のジェットコースターに乗るような感覚です。インストラクターの須藤隼人さんの掛け声とともにスタート。最初は速度抑えめとのことでしたが、この時点でも速さを感じます。顔に雪が当たる感覚がなんとも新鮮。スノーモービルのスピードを味わったところで、「このスノーモービルは1000ccなので、もっとスピードが出るんですよ。この後は飛ばし気味で行きますね」との声に驚きつつ、坂を下ったところでとても面白い加速を発揮。思わず安全バーを強く握り、目をつぶってしまいました。その後もスノーモービルは、すごいスピードで広大な雪の中を駆け抜け

ていきます。坂の起伏では澄みきった冬空に届く勢いで体がふわっと浮くような感覚があり、テレビで観たWRCのラリーマシンがジャンプしている様子と重ね合わせてしまいました。絶景を堪能しつつ、スピードにも慣れてきた頃に体験は終了。スキーをしたことがなかったのですが、スキーで急斜面を滑り降りる時に感じるスリルとスピード感はいかにもものなかも思いました。

スノーコーチ体験

開催日：3月31日(日)まで
料金：大人(中学生以上)2,000円
子ども(小学生)1,500円
受付：ホテル・スキーセンター
平日 8:00~15:30、土日祝 7:30~15:30
・乗車人数 2名(但し幼児追加での3名は可。親同伴の未就学児は無料)
*開催日は積雪及び天候等により変更となる場合がございます。

